

【胃カメラ・大腸カメラについて】

当院では、胃と大腸の内視鏡検査(カメラ検査)を行っています。どちらも、消化管の粘膜を直接観察できる検査で、がんやポリープなどの早期発見に役立ちます。

【大腸カメラ】

ココでも読めます→



大腸カメラは、肛門から内視鏡を入れ、大腸の中を先端のカメラでくまなく観察する検査です。ポリープや炎症、がんなどの異常を調べ、必要があればその場でポリープを切除することもできます(病変の大きさによっては後日の対応となることもあります)。

検査前の準備

前日は消化のよい食事を取り、夜9時以降は食事を控えます。当日は食べずに来院してください。水やお茶は飲んで構いません。

検査の前に腸をきれいにするため、専用の下剤(腸管洗浄液)を約2リットル程度、飲んでいただきます。腸がきれいでないと、病変を見逃すおそれがあります。

薬の服用について

心臓や血圧の薬は通常どおり内服してください。糖尿病の薬を服用中の方は、必ず事前にかかりつけ医に相談してください。

検査当日

鎮静剤を使ってリラックスした状態で検査を行います。検査後は眠気が残ることがあるため、当日の車やバイク・自転車の運転は避けてください。

検査内容と時間

検査時間はおおよそ20～30分です。必要に応じて粘膜の一部を採取(生検)したり、ポリープを切除して詳しく調べることもあります。切除したポリープは病理検査を行い、結果はおおよそ3週間後に判明します。



【胃カメラ】

ココでも読めます→

胃カメラは、口または鼻から細い内視鏡を入れて、食道・胃・十二指腸を観察する検査です。当院では鼻からの検査を基本としています。必要に応じて、色素をまいたり、組織の一部を採取して詳しく調べます。

検査前の準備

午前の検査は前日夜9時以降、午後の検査は6時間前から絶食してください。水やお茶は検査1時間前まで飲めます。心臓や血圧の薬は普段どおりで構いません。糖尿病の薬を飲んでいる方は、事前にかかりつけ医にご相談ください。

検査の流れ

検査の10～15分前に、鼻や喉に麻酔をします。検査時間は5～10分程度です。唾液は飲み込まず、口から自然に出すようにしてください。麻酔アレルギーのある方は、事前にスタッフへお知らせください。

胃や大腸の内視鏡検査は、早期発見・早期治療にとっても有効です。痛みや不安が少なく受けられるよう、スタッフが丁寧にサポートいたします。